

機器の所有者（管理者）は義務としての責任が増大

管理担当者を決める

管理する機器を調査しリストを作る機器ごとに点検記録簿（ログブック）を作成する

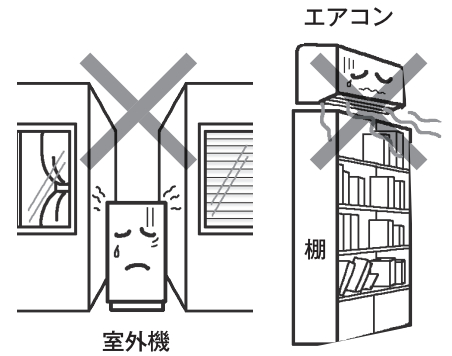
点検記録簿………
（例）・店内
・バックヤード



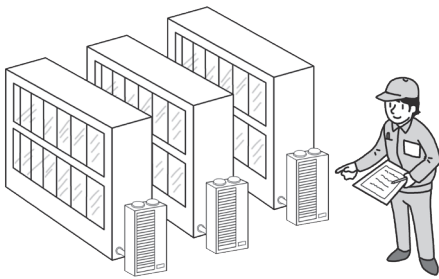
簡易点検の実施担当者を決めておく



機器を適切な場所に設置



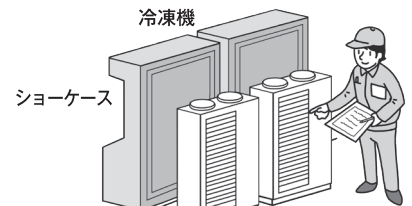
簡易点検は日常的に実施する



漏えいが疑われる場合は、専門業者に速やかに点検・修理を依頼する

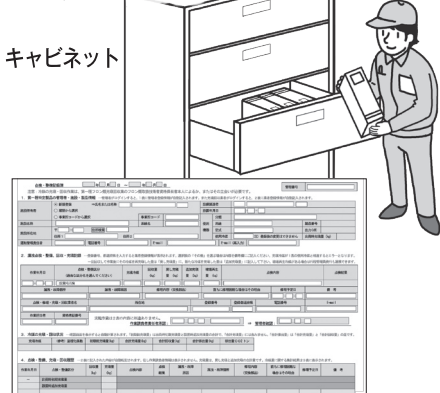


専門業者（「冷媒フロン類取扱技術者」等）による定期点検の実施

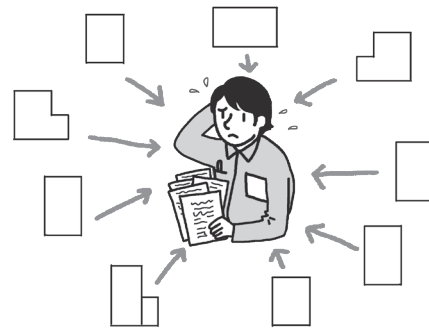


定期点検の頻度		
製品区分	圧縮機の定格出力	点検の頻度
エアコン	7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
	50kW 以上	1年に1回以上
冷蔵・冷凍機器	7.5kW 以上 50kW 未満	1年に1回以上

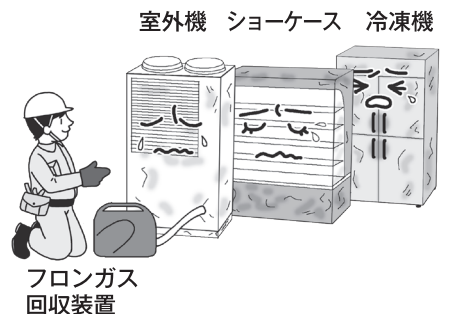
点検・整備記録簿を記録・保存



算定漏えい量の報告



機器の廃棄時にはフロン類を回収しなければならない



（管理者関連） 罰則

- 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
 - ①フロン類のみだり放出
- 50万円以下の罰金
 - ①管理者の判断基準違反
 - ②行程管理票交付違反

- 20万円以下の罰金
 - ①「管理の適正化の実施状況報告」の未報告、虚偽報告
 - ②立ち入り検査の拒否、妨害、忌避
- 10万円以下の過料
 - ①算定漏えい量の未報告、虚偽報告